

## 八王子山&三石岳

(381m) (676m)

実施日：11月20日（木）

天候：晴れ

参加者：5名 川鍋、田中、中原、細田、牧野

行程：比叡山坂本駅 10:20→日吉大社東本宮→11:27 八王子山→12:54 三石岳 13:35→日本生命脇→14:52 飯室（いむろ）不動堂 15:02→坂本8丁目→16:18 比叡山坂本駅。

比叡山坂本駅出発時刻が計画より20分遅延した。出発に際し、今日は地図を持参し忘れてきた（大チョンボだ）ので、メンバーのスマホ・アプリが頼りだとお願いした。また、帰着が16時より遅れそうなら、切り上げて下山を判断することも告げた。駅を出て、里坊並ぶ参道を西進する。道路わきのモミジの紅葉がかなり進んで、陽光に映える。正面を見上げると高く2棟の建物を載せる八王子山。かなり険しそうだ。日吉大社手前の角を右折すると、東本宮に至る。本宮には入らず、左に回って石段を上る。いきなりの急登である。石段を登りきると八王子山登拝の参道だ。これも傾斜がきつい。我慢の登りを終えると眼前に牛尾宮（右）と三宮宮（左）の懸造り2棟の奥宮。翻ると琵琶湖方面の眺望はよく、ランドマークの三上山の三角がよく見える。山頂はまだ上だ。奥宮背後の大きな磐座（これが日吉大社の祖宮とか）を回り込み、更に急傾斜を登る。山頂は樹林の中。一服後、三石岳に向かう。登ってきた右手の尾根を下る。すぐに登り返しとなり、神宮寺山は北東の山腹でかわすが、八王子山で疲れた脚には、傾斜が緩んでも楽にならない。山道は、やがて広道に合流し、北上を継続する。十津寺山をかすめた後、左に尾根へ登る山道がある。これを進むが、今日初めて倒木を潜ることになった。尾根の登りは、最初は緩やかだったが、しばらく進むと右側に動物除けのネットが渡され、傾斜は攀じ登らなければならないほど険しくなる。やっとのことで登りきると尾根に出、少しで三石岳山頂だ。こちらの山頂も展望は利かない。最初は12時頃を目安としたのだが、山頂到着はかろうじて12時台でも小一時間の遅れだ。ここで昼食休憩。この後は、当初の計画では横川中堂に向かい、そのあと安樂律院を経由して坂本に帰着する予定なのだが、横川中堂には行かず、途中から下山することにした。北上は続けるが、適当なエスケープ・ルートを探りながらの行程となる。尾根道は幸い歩きやすく、足早に進められる。阿弥陀峰付近に差し掛かると、左に石段が続いて上方に鳥居がある。看板を見ると恵心僧都の墓所とある。「往生要集」を著した「源信」として昔「日本史」で習った人物だ。高校時代睡眠導入剤だった日本史の教師を思い出した。道路の右側では日本生命慰靈宝塔があり、そのわきに下山道。これを下りることにした。最後に急斜面の廿楽折れを一気に下ると、ほどなく寺院に下り着いた。飯室（いむろ）谷不動堂という。そこからは車道を進まず、ショートカットの峠越えを選び、坂本の里に降り立った。一帯は新興住宅地が広がっていて、道選びは山中より難しい。駅まで16時は楽勝だと思ったが、行きつ戻りつの峠句、比叡山坂本駅に着いたのは16時を大きく過ぎた時刻となった。とにかく、暗くならないうちに無事帰り着き、ヤレヤレの山行だった。

以下、写真10点



1, 紅葉が進む日吉大社参道



2, 見上げると八王子山



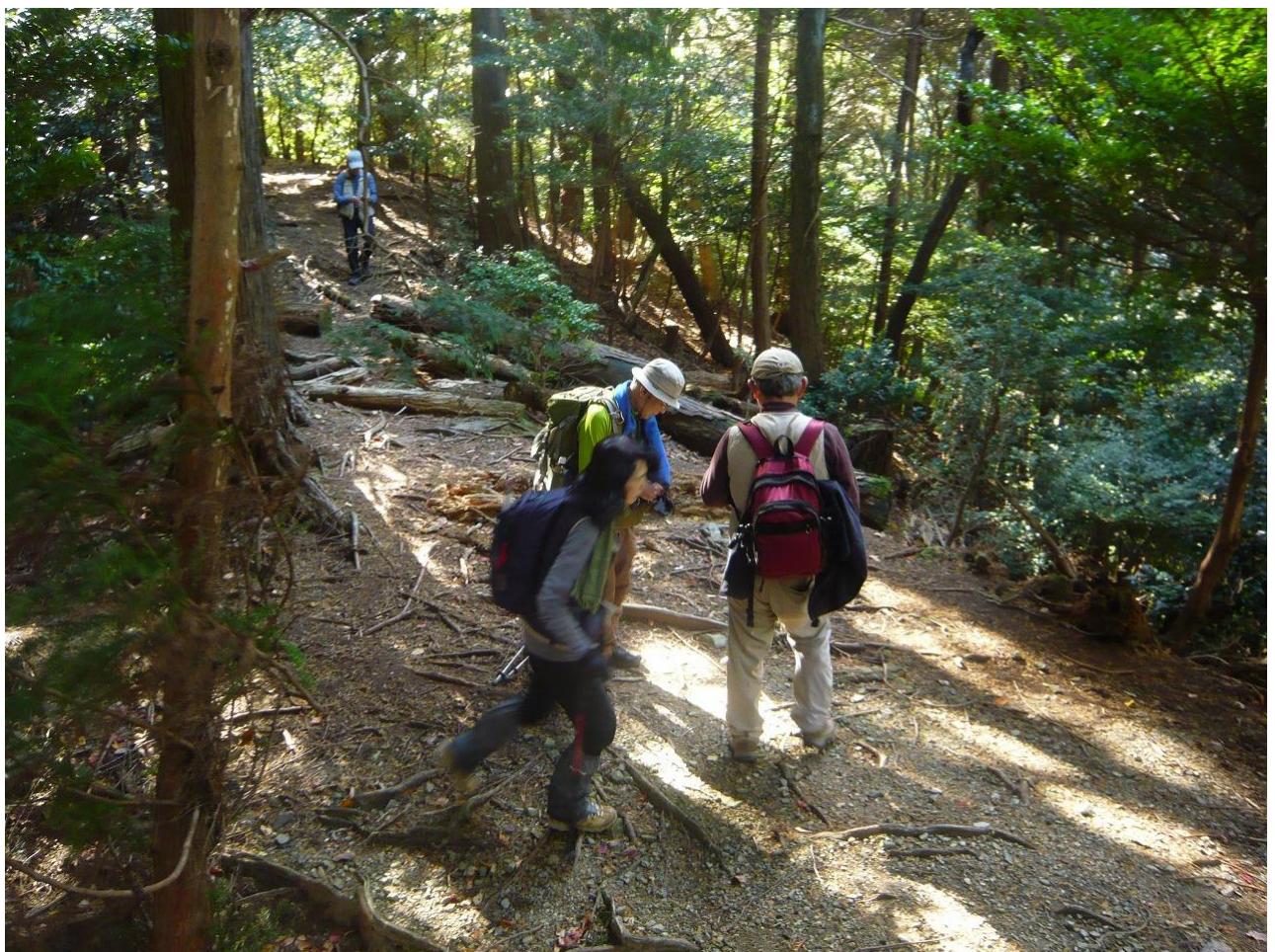
3, 八王子山に上がって牛尾宮と三宮宮



4, 八王子山からの琵琶湖方面の眺望



5, 八王子山頂上にて



6, 林道に登り着く



7, 三石岳で昼食



8, 三石岳頂上にて全員



9, 下山道途中にて。倒壊していたのは元休憩所か。



10, 下りたら飯室不動堂